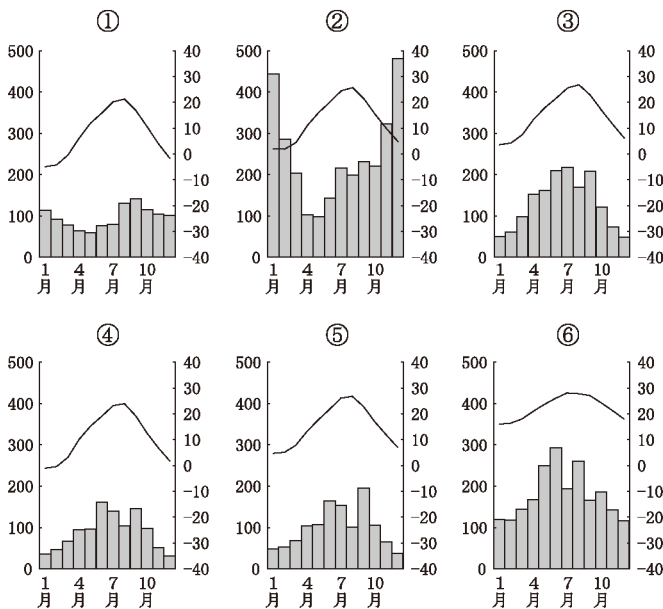


## 問題【社会】

次の図は日本の六つの気候区分の雨温図です。

①～⑥は何気候かを答えましょう。



※図の左の数字は降水量 (mm)、右の数字は気温 (°C) を表します。

## 豆知識 雑学コラム

## 日本の気候区分

今回は日本の気候区分です。それぞれの特徴があるので覚えましょう。

まずは六つを大きく三つに区分します。

一つは冷帯（亜寒帯）です。北海道の気候で梅雨がなく、降水量も少なく冬は寒いです。一番寒そうな雨温図を探しましょう。①です。

二つ目は亜熱帯（熱帯に近い温帯の区分）です。南西諸島の気候で一年中気温が高く、降水量が多い地域です。六つの雨温図の中で1番気温のグラフの変化が小さいもの⑥です。

三つ目は温帯です。残りの四つの特徴は、

② 冬の乾燥した季節風が日本海を通過する時に大量の水蒸気を含むため、雨や雪を多く降らせます。7月、8月より1月、12月の降水量が多い雨温図が日本海側の気候です。

③ ②の空気が山脈をこえる際に水蒸気を失うため、太平洋側では乾いた風が吹いて晴れの天気が続きます。また、夏は太平洋側から吹く南風の影響を強く受け高温多湿となります。⇒夏に雨が多く、冬が少ないものが太平洋側の気候です。

残り二つの中央高地の気候と瀬戸内の気候は似ているので、迷います。

ポイントは一つ。1月の気温を見るべし。0°Cより低いのが中央高地の気候。そうではないのが瀬戸内の気候です。これで日本の気候区分はばっちりですね！

## 【解答】

①北海道の気候②日本海側の気候③太平洋側の気候④中央高地の気候⑤瀬戸内の気候⑥南西諸島の気候